

様式

令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和6年4月30日

団体所在地 廿日市市串戸 3-1-6
団体の名称 特定非営利活動法人キッズNPO
職・氏名 園長 奥 勇輔
(施設名 にこにこキッズくしど保育園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・里芋の種芋植え
- ・トマト、キュウリ、ピーマン苗植え
- ・田植え、泥遊び
- ・モリアオガエルの観察

【7月～9月】(夏季)

- ・夏野菜の収穫
- ・クッキング
- ・川遊び
- ・カブトムシの飼育(幼虫が成虫になる)

【10月～12月】(秋季)

- ・大根の種まき
- ・サツマイモの収穫
- ・トンボの観察
- ・クッキング
- ・稲刈り、餅つき

【1月～3月】(冬季)

- ・雪遊び
- ・凧上げ
- ・白菜、大根収穫
- ・クッキング
- ・弥山登山

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

・活動中に木の枝に泡状の卵がついている事に気が付く。調べているうちにカエルの卵であることを知り、実際にモリアオガエルを見てみたいという気持ちが強くなる。雨の日にカッパを着ておおの自然観察の森に行き、実際に集まっているモリアオガエルをみる事ができた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

・毎年行っていた浅原の川が前年の大雨と河川の氾濫で遊べなくなる。マロンの里交流会館など遊べる川を実際に子ども達と視察して、玖島川親水公園を見つける事ができた。深すぎず、浅すぎず、遊びながら生き物もみつける事ができたので水遊びが好きな子も、苦手な子もそれぞれが楽しむ事ができた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

・年中児を中心にトンボを捕まえることが流行する。初めのうちは飛んでいるトンボをむやみに追いかけて捕まえようとしていたが、トンボが止まるのを待ち伏せして捕まえる方法に変わっていく。やがて年少児もトンボに興味を持ち、自分で捕まえてみたくなり、年中児から方法を教わっていく。年中児は虫取り網を使わないで素手で捕まえることまでできるようになっていった。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

・これまでの活動で山の中を散策したりすることはあっても登山をしたことがありませんでした。1年間でどれくらい体力がついたのか、どこまで登ることができるのか挑戦し、途中で下山になってもまた来年頂上を目標にしようと計画していました。実際に登り始めて休憩の度にこのまま登るか下山するかをみんなで相談しましたが、誰も諦めることなく頂上まで登りきることができました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

メディックファーストエイド受講(7月)

- ・ 地域との関わりについて

専門知識のある地域の方に農園をお借りして野菜の栽培や調理を行う。(毎週)

地域の方に田んぼをお借りして、泥遊びやもち米の稲植え体験や収穫をさせていただき、できたお米で餅つきを行う。

- ・ 保護者との関わりについて

子供たちが育てた野菜を持ち帰って家庭でも味わっていただく。

- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

URL	https://instagram.com/niko_kushido
-----	-------------------------------------------------------------------------------------